



カケハシ・プロジェクト（米国） スポーツ（柔道）招へいの記録

1. プログラム概要

【目的・概要】

柔道を通じた多様な交流から、日米の相互理解を促進することを主目的として米国の柔道関係者 4 名を招へいしました。一行は東京都と宮崎県を訪問し、地域の人々と実際に交流・対話をすることで、日本の魅力を体感するとともに、SNS 等を通じて発信もしました。

【参加者】米国の柔道関係者（社会人）合計 4 名

【訪問地】東京都、宮崎県

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）:

11 月 23 日（土曜日） 【来日前（渡航前）オリエンテーション】 事業目的・ミッション、日程説明、
渡航上の注意、感染症対策等

来日までの指定期間 【動画視聴】日本理解講義（Web Japan より選択）

■ 招へい（派遣／オンライン交流）プログラム:

12 月 3 日（火曜日） 羽田空港より入国

【来日時オリエンテーション】

12 月 4 日（水曜日） 東京都から宮崎県へ移動

【文化体験】茶道

【表敬訪問】延岡市長 読谷山 洋司 氏

【ホストファミリー対面式】

12 月 5 日（木曜日） 【ホームステイ】

【学校交流】延岡学園高校 柔道部

（オリンピック金メダリスト 中村 兼三総監督の直接指導含む）

12 月 6 日（金曜日） 【学校交流】延岡学園高校 柔道部、調理科

【視察】旭化成展示センター

12 月 7 日（土曜日） 大分県から東京都へ移動

【視察】日本オリンピックミュージアム

【視察】柔道用品専門店 株式会社九櫻

12 月 8 日（日曜日） 【視察】浅草

【ワークショップ（報告会準備）】（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画

(アクション・プラン) の作成)

【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表

12月9日(月曜日)

【視察】講道館

羽田空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム



2024年12月4日【文化体験】茶道



2024年12月4日【表敬訪問】
延岡市長 読谷山 洋司 氏



2024年12月5日【ホームステイ】



2024年12月5日【学校交流】
延岡学園高校 柔道部



2024年12月6日【学校交流】
延岡学園高校 (調理科との昼食交流の様子)



2024年12月6日【視察】
旭化成展示センター

	
2024 年 12 月 7 日【視察】 日本オリンピックミュージアム	2024 年 12 月 7 日【視察】 株式会社九櫻 柔道用品専門店
	
2024 年 12 月 8 日【視察】浅草寺	2024 年 12 月 8 日【報告会】
	
2024 年 12 月 8 日【報告会】集合写真	2024 年 12 月 9 日【視察】講道館

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 社会人

ホームステイはまたとない経験で、純粋に人と人の繋がりが作れたと思います。柔道の稽古は刺激的で、謙虚な気持ちにさせてくれました。各プログラムに関わる人は皆、尊敬の念を持ち、熱心に取り組み、すばらしい精神性を持っていました。どの施設もよく整備され、期待以上の体験ができました。旅の一瞬一瞬を心から楽しむことができました。この交流に参加できたことに心から感謝しています。

◆ 社会人

日本の清潔さ、人々に対する全体的な敬意、気配りなどは類を見ないもので、米国とは比べものにもなりませんでした。

◆ 社会人

カケハシ・プロジェクトで出会った人たちとの交流は、私の一生の思い出です。滞在は短かったのですが、宮崎で新しい友人を作り、新しい家族までできたと心から感じています。これからも日本の友達や家族と連絡を取り合い、できるだけ早く日本に戻ってまた皆と過ごしたいです！

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ ホストファミリー

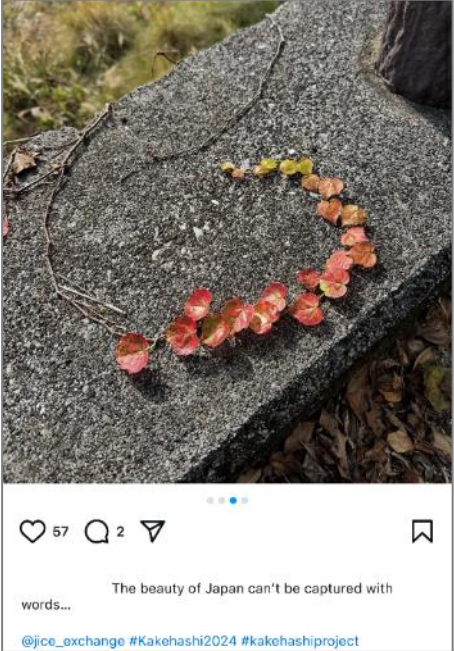
一緒に、日本の料理が出来た事と、向こうの料理を作ってもらえた事が嬉しかったです。

4人共、とても仲が良く、昔からの知り合いかと思ったら会ったばかりと言うことで彼らのコミュニケーション力には感心しました。私達も楽しく過ごせました。

◆ 視察先関係者

良い経験をしていただけたようで嬉しい限りでございます。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

	
2024 年 12 月 5 日（Instagram） 米国 社会人 朝 6 時に起きる理由として、新鮮なお餅を作ることほど素晴らしいものはありません。	2024 年 12 月 6 日（Instagram） 米国 社会人 日本の美しさは、言葉だけでは表現できません…。



2024 年 12 月 4 日（延岡市長 読谷山 洋司 氏の X）

外務省事業の全米大学チャンピオンクラスの柔道選手の延岡合宿がスタート。延岡学園高校柔道部との練習、農家民泊、旭化成柔道部の中村兼三総監督（アトランタ五輪金メダル）の直接指導と盛り沢山。さすがアメリカ国務省が選抜した選手達、大変礼儀正しいです。



2024 年 12 月 6 日（延岡国スポ・障スポの Instagram）

延岡学園柔道部がアメリカ柔道選手と合同練習。5 日、延岡学園柔道場で行われた合同練習で、延岡学園高等学校柔道部の生徒たちと「カケハシ・プロジェクト」で来延しているアメリカ柔道選手 4 名と一緒に練習で汗を流しました。旭化成柔道部の中村兼三総監督（アトランタオリンピック金メダリスト）による実演を交えた熱心な指導があり、世界と戦った技を教わっていました。（後略）

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

訪問地：東京都、宮崎県 全 1 グループが発表

Kakehashi Project 2024

Judo Sport Exchange

Early to Bed and Early to Rise



Waking up at 6am to make fresh mochi before going to practice!



Judo Practice



【成果の発表】

◆ 訪日全般の学び：

- ・ 伝統と近代が隣り合っています。
- ・ 「ゴミを持ち帰る」文化が根付いていることで、街中にゴミが落ちていないだけでなく、ゴミ箱もありません。
- ・ お茶会で出される抹茶は贅沢品扱いでした。
- ・ 畳の枚数で部屋の大きさを説明する風習があります。

- ・ トンボは必ず前に飛ぶことから、武士の間で恐れをなさないシンボルともされていました。
- ・ 日本人は、何をするにしても敬意を払い、一生懸命取り組みます。
- ・ お餅 1 個分はごはん茶碗 1 杯分と同等と聞きました（食べすぎ注意です）。
- ・ 国境を越え、言葉を超えた人と人のつながりができると身をもって知りました。今回のホームステイで日本のお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんことができました。

◆ 柔道についての学び：

柔道に若い頃から触れてきている私たちにとっても、新たな発見が多かったです。まず礼に始まり、礼に終わるという風習は米国にも伝わっていますが、敬意を払う姿勢が当たり前という文化が日本にはありました。そして反復練習の質と量が米国と大きく違っていました。2 時間半の練習を 2 日間行いましたが、練習の量・密度が米国と大きく異なり、この 2 日間で得た経験は、通常の練習を 10 日以上行っても得られないようなものでした。

【アクション・プラン】

各参加者の居住地・所属道場が異なるため、対外発信以外のアクション・プランは各自で行います。

1. 自分が所属している武道着・アパレル会社で、日本で直接見知ったデザインを取り込み、より日本文化に添ったデザインを生み出したいと思います。（例：延岡学園高校で見た柔道着のデザイン、街中の景色・神社仏閣、美術品、歩く街中の人の洋服のデザイン等）

また、日本で買い物をした際、お店の人が商品に誇りを持って包装まで丁寧に行っていたのを見て、自身の会社でも同じようにしたいと思いました。

2. 所属している道場の練習に、日本で体験した練習の要素を取り込みます。

- ・ 音楽を流さない日（集中する日）を設定。
- ・ 気合を入れるための掛け声を導入。
- ・ 試合に向けた調整と通常の練習に違うメニューを取り入れ、メリハリをつくる。
- ・ 延岡学園高校で行った練習を、毎年 2 回行っている集中合宿にそのままメニューとして 1～2 回取り入れ、参加者の体力の向上を図る。

3. ホームステイで食べた料理や得た生活の知恵を友人や道場の仲間、家族などと共有する。

（例：チキン南蛮のレシピ、松の葉のお茶等）

同様に、食事バランスの大切さについても共有します。ホームステイだけでなく、プログラム中に訪れたレストランでも栄養バランスへの配慮が行き届いていました。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）